平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名　株式会社 ハピネット　　上場取引所　東
コード番号　7552　URL　http://www.happinet.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 苗手　一彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者　(氏名) 浅津　英男　TEL 03-3847-0410

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日　配当支払開始予定日　平成23年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	88,508	4.0	2,316	86.8	2,422	84.2	1,526	114.2
23年3月期第2四半期	85,090	△5.3	1,240	33.3	1,314	24.2	712	8.4

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　1,413百万円　(201.7%)　23年3月期第2四半期　468百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	68.14	—
23年3月期第2四半期	31.81	—

平成23年11月1日開催の取締役会において、平成23年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式を分割することを決議しております。これにより、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	50,392	21,053	41.8
23年3月期	48,507	19,802	40.8

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　21,041百万円　23年3月期　19,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年3月期	—	22.50			
24年3月期(予想)			—	11.25	33.75

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

平成23年11月1日開催の取締役会において、平成23年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式を分割することを決議しております。これにより、平成24年3月期(予想)の期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。詳しくは「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	192,000	0.6	3,100	8.6	3,200	6.2	1,600	16.2	71.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

平成23年11月1日開催の取締役会において、平成23年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式を分割することを決議しております。これにより、平成24年3月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	24,050,000 株	23年3月期	24,050,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,647,630 株	23年3月期	1,647,410 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	22,402,559 株	23年3月期2Q	22,406,424 株

平成23年11月1日開催の取締役会において、平成23年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式を分割することを決議しております。これにより、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割について)

平成23年11月1日開催の取締役会において、平成23年12月1日付で、平成23年11月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有普通株式1株につき、2株の割合をもって株式分割することを決議しております。当該株式分割の影響を考慮し、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の配当の状況につきましては、以下のとおりになります。

基準日:平成23年3月期 第2四半期末 7円50銭 期末 7円50銭 年間 15円00銭

基準日:平成24年3月期 第2四半期末11円25銭 期末(予想)11円25銭 年間(予想)22円50銭

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（７）重要な後発事象 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により停滞していた生産活動が、供給網の復旧等により回復に向かいつつあり、企業の設備投資や個人の消費行動に改善の兆しがみられたものの、欧米での金融・経済危機を背景とした円高や株安の進行により、日本の景気回復にも影響を及ぼすことが懸念され、日本経済の先行きは引き続き不透明な状況が続いております。

当社グループの属するエンタテインメント業界におきましては、少子化や消費者ニーズの多様化、ブロードバンドインフラの普及によるパッケージ市場の低迷等、依然厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループは、玩具事業、アミューズメント事業におきましては、主力の男児キャラクター商材を中心に好調に推移しております。

また、映像音楽事業につきましては、平成23年４月１日付で、当社（株式会社ハピネット）の映像音楽販売部門を子会社であります株式会社ハピネット・ピーエム（旧社名　株式会社ウイント）に業務を移管し、業務の効率化を推進しており、利益面に関しましては、好調に推移いたしました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は885億８百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は23億１千６百万円（同86.8%増）、経常利益は24億２千２百万円（同84.2%増）、四半期純利益は15億２千６百万円（同114.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、従来「玩具事業」「映像音楽事業」「ビデオゲーム事業」「アミューズメント事業」の４つを報告セグメントとしており、トレーディングカード、雑貨類の販売に係る事業は「その他」として区分しておりました。

しかし、男女児一般玩具とトレーディングカード、雑貨類の販売における市場、販売方法、顧客の種類等の類似性を考慮した結果、第１四半期連結会計期間より、トレーディングカード、雑貨類の販売に係る事業セグメントを玩具事業へ集約することといたしました。

前年増減比につきましては、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報を、変更後の報告セグメントの事業区分に従って組み替えて表示しております。

①玩具事業

中核事業であります当事業は、バンダイの「仮面ライダーフォーゼ」、「海賊戦隊ゴーカイジャー」等の男児キャラクター商材が好調に推移し、売上高、セグメント利益とも好調に推移いたしました。

この結果、売上高は340億９千２百万円（前年同期比12.2%増）、セグメント利益は12億４千９百万円（同45.2%増）となりました。

②映像音楽事業

映像音楽市場においては、インターネットを利用したコンテンツ配信等が進んでおり、パッケージ市場が低迷する中、当社グループにおきましても苦戦を強いられているものの、利益面につきましては事業構造改革の推進による販売管理費の削減等の効果や、当社独占販売作品であります「英国王のスピーチ」のヒット等により、好調に推移いたしました。

この結果、売上高は267億２百万円（前年同期比2.9%減）、セグメント利益は３億３千８百万円（同323.1%増）となりました。

③ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業においては、市場全体が低迷している中、ヒット作の不足等により、当社グループにおきましては苦戦を強いられました。

この結果、売上高は164億９千２百万円（前年同期比11.8%減）、セグメント利益は４億４百万円（同1.6%減）となりました。

④アミューズメント事業

玩具自動販売機商材でカプセル玩具では、「仮面ライダーオーズ」、「ワンピース」、「海賊戦隊ゴーカイジャー」等男児キャラクター商材が好調に推移するとともに、カードゲーム機におきましては、「仮面ライダーバトル　ガンバライド」、「ドラゴンボールヒーローズ」や新型筐体「ガンダムトライエイジ」が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は112億２千万円（前年同期比32.0%増）、セグメント利益は９億８千９百万円（同96.9%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は435億円となり、前連結会計年度末に比べ24億６千１百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加18億８千８百万円、受取手形及び売掛金の増加４億４千９百万円によるものであります。固定資産は68億９千１百万円となり、前連結会計年度末に比べ５億７千６百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産の減少３億８千３百万円によるものであります。この結果、総資産は、503億９千２百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億８千４百万円増加いたしました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は264億８百万円となり、前連結会計年度末に比べ５億７千１百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加13億１千４百万円、未払法人税等の減少２億３千４百万円、賞与引当金の減少７千８百万円によるものであります。固定負債は、29億３千万円となり、前連結会計年度末に比べ６千２百万円増加いたしました。これは主に退職給付引当金の増加６千６百万円によるものであります。この結果、負債合計は、293億３千８百万円となり、前連結会計年度末に比べ６億３千３百万円増加いたしました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は210億５千３百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億５千１百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加13億５千８百万円、その他有価証券評価差額金の減少１億１千２百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は41.8%（前連結会計年度末は40.8%）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当社グループを取り巻くエンタテインメント業界におきましては、市場環境が先行き不透明なため、平成23年５月11日の「平成23年３月期　決算短信」で公表いたしました通期連結業績予想からの修正は行っておりません。

なお、本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、平成23年４月１日付で、当社（株式会社ハピネット）の映像音楽販売部門を株式会社ウイントに移管し、株式会社ウイントの社名を株式会社ハピネット・ピーエムに変更いたしました。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（１株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間より、「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号 平成22年６月30日）、「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号 平成22年６月30日）及び「１株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第９号 平成22年６月30日）を適用しております。

当第２四半期連結貸借対照表日後（平成23年12月１日付）において株式分割を行います。これにより、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり四半期純利益金額を算定しております。

なお、これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第２四半期連結累計期間の１株当たり四半期純利益金額は、以下のとおりであります。

１株当たり四半期純利益金額　　63円63銭

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,220	10,109
受取手形及び売掛金	23,206	23,655
商品	6,418	6,866
貯蔵品	17	14
その他	3,252	2,930
貸倒引当金	△76	△75
流動資産合計	41,039	43,500
固定資産		
有形固定資産	1,555	1,461
無形固定資産		
のれん	876	707
その他	2,255	2,041
無形固定資産合計	3,132	2,749
投資その他の資産		
投資有価証券	1,548	1,352
その他	1,408	1,495
貸倒引当金	△175	△167
投資その他の資産合計	2,780	2,680
固定資産合計	7,468	6,891
資産合計	48,507	50,392
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,204	21,518
未払法人税等	1,038	804
賞与引当金	314	236
ポイント引当金	5	5
事業構造改善引当金	11	－
返品調整引当金	21	18
その他	4,242	3,825
流動負債合計	25,837	26,408
固定負債		
退職給付引当金	1,630	1,697
資産除去債務	45	46
負ののれん	51	33
その他	1,139	1,152
固定負債合計	2,867	2,930
負債合計	28,704	29,338

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	2,775	2,775
利益剰余金	15,175	16,534
自己株式	△1,091	△1,091
株主資本合計	19,611	20,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185	72
繰延ヘッジ損益	0	△1
その他の包括利益累計額合計	185	71
新株予約権	5	11
少数株主持分	0	0
純資産合計	19,802	21,053
負債純資産合計	48,507	50,392

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	85,090	88,508
売上原価	74,685	76,634
売上総利益	10,404	11,874
販売費及び一般管理費	9,164	9,557
営業利益	1,240	2,316
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	28	20
負ののれん償却額	18	18
その他	48	71
営業外収益合計	97	111
営業外費用		
支払利息	11	2
為替差損	7	0
その他	3	2
営業外費用合計	22	5
経常利益	1,314	2,422
特別利益		
固定資産売却益	3	2
投資有価証券売却益	28	－
会員権売却益	－	1
貸倒引当金戻入額	4	－
特別利益合計	35	3
特別損失		
固定資産売却損	0	7
固定資産除却損	11	1
投資有価証券売却損	－	0
投資有価証券評価損	17	－
会員権評価損	－	0
会員権売却損	－	1
子会社整理損	22	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27	－
災害による損失	－	29
特別損失合計	78	41
税金等調整前四半期純利益	1,271	2,384
法人税、住民税及び事業税	276	802
法人税等調整額	282	55
法人税等合計	558	857
少数株主損益調整前四半期純利益	712	1,527
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△0	0
四半期純利益	712	1,526

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	712	1,527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△243	△112
繰延ヘッジ損益	△1	△1
その他の包括利益合計	△244	△113
四半期包括利益	468	1,413
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	468	1,412
少数株主に係る四半期包括利益	△0	0

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,271	2,384
減価償却費	384	346
のれん償却額	204	150
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4	△8
株式報酬費用	0	5
賞与引当金の増減額（△は減少）	△370	△78
退職給付引当金の増減額（△は減少）	23	66
事業構造改善引当金の増減額（△は減少）	△77	△11
受取利息及び受取配当金	△29	△21
支払利息	11	2
固定資産除売却損益（△は益）	8	6
投資有価証券売却損益（△は益）	△28	0
投資有価証券評価損益（△は益）	17	－
会員権売却損益（△は益）	－	△0
会員権評価損	－	0
為替差損益（△は益）	7	0
子会社整理損	22	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27	－
売上債権の増減額（△は増加）	△452	△441
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,448	△444
仕入債務の増減額（△は減少）	908	1,314
その他	619	△131
小計	1,094	3,142
利息及び配当金の受取額	29	21
利息の支払額	△12	△2
法人税等の支払額	△450	△1,036
営業活動によるキャッシュ・フロー	660	2,124
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11	△24
有形固定資産の売却による収入	5	32
無形固定資産の取得による支出	△75	△86
投資有価証券の取得による支出	△111	△4
投資有価証券の売却による収入	115	2
その他	△112	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△190	△64
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△100	－
自己株式の売却による収入	102	－
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△168	△168
その他	△8	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△174	△170
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	289	1,888
現金及び現金同等物の期首残高	6,312	8,220
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,601	10,109

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム事業	アミューズメント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	30,376	27,509	18,703	8,500	85,090	－	85,090
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	30,376	27,509	18,703	8,500	85,090	－	85,090
セグメント利益	860	80	410	502	1,853	△613	1,240

（注）１．セグメント利益の調整額△613百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△613百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム事業	アミューズメント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	34,092	26,702	16,492	11,220	88,508	－	88,508
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	34,092	26,702	16,492	11,220	88,508	－	88,508
セグメント利益	1,249	338	404	989	2,981	△664	2,316

（注）１．セグメント利益の調整額△664百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△664百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「玩具事業」「映像音楽事業」「ビデオゲーム事業」「アミューズメント事業」の４つを報告セグメントとしており、トレーディングカード、雑貨類の販売に係る事業は、「その他」として区分しておりました。しかし、男女児一般玩具とトレーディングカード・雑貨類の販売における市場、販売方法、顧客の種類等の類似性を考慮した結果、第１四半期連結会計期間より、トレーディングカード・雑貨類の販売に係る事業セグメントを玩具事業へ集約することといたしました。

なお、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

株式分割

当社は、平成23年11月１日開催の取締役会において、下記のとおり株式分割の実施を決議いたしました。

①株式分割の目的

投資家の皆様が、より投資し易い環境を整えることで、株式の流動性を高め、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

②株式分割の概要

（イ）分割の方法

平成23年11月30日（水曜日）最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有普通株式１株につき、２株の割合をもって分割します。

（ロ）分割により増加する株式数

・株式分割前の発行済株式総数　　12,025,000株
・今回の分割により増加する株式数　　12,025,000株
・株式分割後の当社発行済株式総数　　24,050,000株
・株式分割後の発行可能株式総数　　64,000,000株

③日程

（イ）基準日公告日　　平成23年11月２日
（ロ）基準日　　平成23年11月30日
（ハ）効力発生日　　平成23年12月１日

なお、当該株式分割が前事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合の１株当たり情報及び当事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合の１株当たり情報は、それぞれ以下のとおりであります。

前第２四半期連結累計期間

１株当たり四半期純利益金額　　31円81銭

当第２四半期連結累計期間

１株当たり四半期純利益金額　　68円14銭

（注）潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。